

【第1案（市民会議まとめ Ver）】※地域づくり課が単語を抜粋し文章として繋げました
【第2案（第4回制定作業部会後 Ver）】

（基本原則）
 第●条 本市におけるまちづくりは、次の各号に掲げる原則により、それぞれ当該各号に定めることを基本として行うものとする。

(1) 情報発信及び共有の原則 市民、議会及び市長等が互いにまちづくりに関する情報を発信し、及び共有すること。

(2) 交流及び意見交換の原則 市民、議会及び市長等が互いに交流し、及び活発な意見交換を行うこと。

(3) 連携及び協働の原則 市民、議会及び市長等が互いに○○○○○。

【第3案（大池副会長案 Ver）】※（3）のみ

(3) 連携及び協働の原則 市民、議会及び市長等は市政の課題の解決に向けて、それぞれの自覚と責任の下に相手の立場や主張を認め合い、目的を共有したうえで連携し、協力しなければならない。

コメントの追加 [U1]: 情報交換と同義なので統一しています。

コメントの追加 [U2]: 連携…人や物事との密接なつながり。連携…同じ目的で何かをしようとするものが、連絡を取り合ってそれを行うこと。
※インターネットより

コメントの追加 [U3]: 協働についての内容を協議してください。

コメントの追加 [U4]: 他の条文に合わせて「まちづくり」とします。併せて項中の表現を「まちづくりに関し、」と統一します。

コメントの追加 [U5]: 以降の条文に合わせて「役割と責務」とします。

コメントの追加 [U6]: 他の項に合わせて「すること。」とします。

まちづくりの姿勢

基本原則

情報発信、共有

各々が持つ情報を互いに発信し、共有する
日頃から市民、議会、行政が互いに情報発信をし、共有する。

風通しのよさ、コミュニケーションの深化（交流し、信頼関係を築く）

風通し、心が通いあう～コミュニケーション深化
コミュニケーションを深化していくための工夫
それぞれの関係が近く、風通しよく、あたたかいまちづくりを目指す

連携し、協働する

市民、行政、議会が連携するしくみ
島田市 活発な意見、情報交換を可能とするシステムの構築

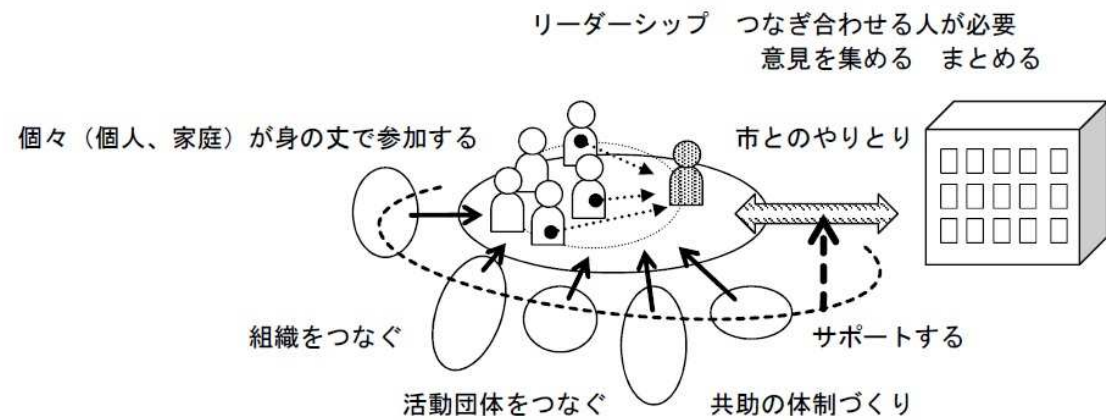
言葉の定義

位置づけ

「市（民）全体」の指針とする
威厳が必要

地域コミュニティ

《第14回市民会議まとめ》



島田市の地域コミュニティは、安心して暮らせるまちづくりを目指して、きめ細やかさ、公平さを大切にして住民同士、団体同士の横のつながりや市との円滑なやりとりができるようにして、市民がまちづくりに参加するとともに市民の声を生かしたまち（地域コミュニティ）づくりを進める。

そのためには、新しい組織（体制）システムとリーダーシップの醸成が必要

面をつなげる

- ・広い視野
- ・住民の話をよく聞く（声を集める）

わかりやすい組織体制（情報伝達ルートの明確化）

- ・（市と地域・団体同士を）つなげる

市役所職員の参加

市は、市民に対して活動参加のきっかけづくり、意識啓発を

議会は、地域との距離を縮めるようにつとめる

市民は自分たちでできることは自分たちでという市民の自覚をもち、協力しあう

【第1案（市民会議まとめ Ver）】※地域づくり課が単語を抜粋し文章として繋げました

（地域活動・市民活動）

第●条 市民は、地域活動（自治会等地縁に基づいて形成された団体による公共的な活動をいう。以下同じ。）及び市民活動（NPO等共通の目的意識に基づいて形成された団体による公共的な活動をいう。以下同じ。）に参加するように努めるものとする。

2 市長等は、市民が地域活動及び市民活動に参加しやすいよう、環境を整えるとともに、市民が参加するように意識啓発を図るものとする。

3 市長等は、地域活動及び市民活動を行う団体を支援するものとする。

コメントの追加 [U7]: コミュニティについて述べるときに団体活動のみを考えがちであるが、まちづくりでは団体活動に限らず個人の活動も重要である。団体活動に限らないことを表すために、「公益的活動」に置き換える。

【第1案（市民会議まとめ Ver）】※地域づくり課が単語を抜粋し文章として繋げました



実効性の確保

条例が身近なものとしてみんなの役に立つように

チェック機能

「**審議委員会**」を設置し、定期的に確認

《第15回市民会議まとめ》

- 1) 自己採点
- 2) 「取り組み具合・褒める」市民の声を集める
- 3) 組織体でチェック
 - ① 検討～個別の事案が条例に合っているか
 - ② 収集した市民の声を集約する→組織が必要
- 4) 検討結果の公表 → 見直し

事務局・・・形骸化を防ぐ仕組みにするには行政ではないところで

構成員・・・(A案) 市内 市のことだから

(B案) 第三者 公平性、客観性重視

その他)

- ・研修 行政 職員マイスター（職員周知のための役割） ex.防災マイスター
市民 市民の知識をつける、底辺を広げる ex.地域防災リーダー
- ・年次計画 数値のほうがわかりやすいが、項目、基準をどうするかが課題
→形骸化を防ぐ
行動計画で進捗管理とともに、条例を意識した執務ができる

（実効性の確保）

第●条 市長は、この自治基本条例に基づく取組の進行を管理するとともに、その結果を取りまとめ、市民に公表するものとする。

（審議委員会）

第●条 この条例の運用状況を点検するとともに、この条例の趣旨に関し普及啓発を図るため、島田市自治基本条例〇〇〇〇**審議委員会**を置く。

2 審議委員会の組織及び運営について必要な事項は、市長が別に定める。

コメントの追加 [U8]:（第8回作業部会）
実効性の確保について「職員研修」等の具体的な取組みを明記し、評価等は審議委員会の規則で定める。

コメントの追加 [U9]: ここに入る言葉を協議してほしい。

コメントの追加 [U10]: 実際に何をするのか検討したほうがよいかも。チェック業務だけでも負担が多く、形骸化する恐れがある。また「協働」というのは数値で表すのが難しい。
条例で定める3者をチェックすることになると思うが、「市民をチェック」でよいのか？